

■ 編集委員

池淵 研二* (委員長)

赤塚 俊隆* 伊崎 誠一* 小山 勇* 仁科 正実 町田 早苗 松下 祥* 御手洗哲也*

渡辺 修一* Chad L Godfrey (*Associate Editor 兼任, 五十音順)

■ Associate Editor

池田 正明 太田 敏男 永井 正規 萩原 弘一 (五十音順)

■ 編集後記

ソチ冬季オリンピックの興奮が去り、ジャンプのレジェンドには元気をもらいました。現在はパラリンピックが開催されています。50年ぶりの大雪と雪被害の報道、日本人リケジョによるSTAP細胞の大発見とそれに対する一連のクレーム騒ぎ、東日本大震災から3年目の節目を迎えたテレビ報道、いろいろな出来事がこの2月、3月に集まって起こっています。日本人の多くが待ち望んでいる日本人横綱候補、稀勢の里にとって今場所はカド番脱出の大事な場所ですが、彼に次ぐ大型力士の遠藤に期待が集まり、初戦から大関・横綱に総当たりの対戦が組まれ苦戦しています。個人的な感想ですが多くのファンが二人を応援しているはずで、そのような時期に編集後記を書いています。数年経ったところに編集後記を読まれた際には「そうそう、そんな時代でしたね」と思い出していただければ幸いです。

さて本号では新企画として、医学教育センター卒業後教育委員会後援学術集會でご講演の外部講師に講演内容を投稿していただいた総説と、最近のアレルギー診療について学内の先生にご執筆いただいた総説を掲載しました。今後毎号2編くらいを目安に編集部から依頼し、学外、学内からの新鮮な情報を盛り込める雑誌にしていきたいと思っています。更に学内で活発に行われている研究活動および臨床の取り組みを紹介していただくようにしたいとアンテナを張って情報収集を行っています。是非本雑誌の読者からもご推薦いただくと幸いです。また次号の話になって恐縮ですが、埼玉医大3キャンパスで現在行われている先進医療を一括紹介するコーナーを企画しています。埼玉医大は教育システムの進化によって、医師国家試験現役合格率は非常に高まってきたことに並行して、研究成果面でも素晴らしい実績を収めていることをアピールさせていただく舞台として、本雑誌がその役割を演じることができそうです。努力していきたいと思っております。

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第40巻 第2号

編集責任者

池淵 研二

平成26年3月15日 印刷

平成26年3月31日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102/2030 (直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>